

平成 25 年度日本原子力学会秋の大会 第 39 回炉物理部会全体会議議事録

日時：平成 25 年 9 月 5 日（木）12:00-13:00

場所：八戸工業大学 J 会場（教養棟旧館 210 号室）

議事概要

1. 平成 25 年度予算実績報告

財務小委員会の京大佐野氏より、今年 3 月に開催された総会での会計報告時点では未定であった日韓合同セッションに係る支出分を追加した 24 年度会計の決算が報告された。また、25 年度予算の執行状況について報告があり、来年度開催される PHYSOR2014 の準備金として 60 万円の支出が近々予定されているとのことである。

2. 第 45 回炉物理夏期セミナー報告

炉物理夏期セミナー小委員会の京大中島氏より、第 45 回炉物理夏期セミナーの報告がなされた。また、学生・若手小委員会担当幹事の原子力エンジニアリングの田淵氏より若手研究会の実施内容について報告がなされた。

今後、核データ部会との合同の夏期セミナーを開催してもよいのではないかとのコメントがあった。また、核データ部会でもそのような要望があることが紹介された。

3. 日韓セミナー報告他

学術交流小委員会の東芝郡司氏より、日韓セミナー本年 3 月に開催された日韓炉物理核データ合同セッション等について報告があった。同セッション開催に際しての課題がいくつか示され、今後検討することとした。次回は 2015 年 5 月に韓国で開催予定である。また、4 部会合同日韓サマースクールが来年韓国で開催予定であるが、韓国側からまだ開催に関する情報連絡がないので、核データ部会の京大堀氏より韓国側に問い合わせてもらおうことが報告された。日韓炉物理核データ合同セッション及び 4 部会合同日韓サマースクールへの参加補助として、従来通り、それぞれ約 30 万円の支出を計画したい旨の報告があった。

日韓セミナーに関しては、日中韓での合同セミナーあるいはワークショップに拡大してはどうかとの打診が来ているので、部会運営小委員会で検討した後、部会に諮っていく予定であることが報告された。なお、日中韓への拡大検討に関して、炉物理部会、核データ部会、韓国の炉物理核データ部会の三者での日韓セミナーについての協定締結等に関する資料の有無を調査している旨の報告があった。これに対して、協定締結に関する情報が東工大小原氏より報告され、協定内容に関する文書を部会長及び副部会長宛へ送付する旨の発言があった。部会長及び副部会長は、入手した後、その内容を確認し、拡大検討への参考とすることとする。

JNST50 周年記念 Review 記事の執筆を依頼する海外研究者の推薦と炉物理部会賞の応募者が、それぞれ募集中であることが報告された。

4. 来年春の年会の部会企画セッションについて

来年の春の年会での部会企画セッションを募集しているが、いまのところ応募がないので、郡

司氏より過去に取りまとめた炉物理ロードマップの内容がセッションテーマの候補として紹介された。この他に、次期 JENDL に関して核データ部会と合同で開催する案も示された。

5. PHYSOR2014 の準備状況について

京大下氏、岡嶋部会長より PHYSOR2014 の概要と準備状況について説明がなされた。来年 1 月以降、フルペーパーの査読を部会員にお願いすることがあるので協力頂きたい旨の要請がなされた。

6. 平成 26 年度の予算案について

財務小委員会の京大佐野氏より 26 年度案が示された。予算案は 11 月に決定する予定なのでその前にメーリングリストで部会に諮ることとする。来年度に予算が必要となる活動を予定している方はなるべく早く部会運営小委員会まで連絡するよう要請がなされた。

7. その他

- 部会等運営委員会の北田氏より、専門分野コードが改定されたことが報告された。次回学会で投稿する際は注意する必要があることが確認された。
- 炉物理分野のプログラム編成 WG のメンバー 6 名が近々交替する。今後、新規メンバー就任の依頼を受けた方は前向きに対応して貰いたいとの依頼があった。
- 学生連絡会の運営委員がほとんどいない状況であり、ポスターセッションが開催できず、今後、各部会からサポートが必要かもしれないとの報告があった。今後、北田氏より、部会等運営委員会の検討状況を炉物理部会のメーリングリストで報告することとなった。なお、ポスターセッションに関して、開催の是非を検討する必要があるかとの意見も出された。
- 「炉物理専門研究会」(12 月 4, 5 日開催予定、於に京都大学原子炉実験所) の案内があり、講演者推薦の依頼があった。
- International Symposium on Nuclear Back-end Issues and the Role of Nuclear Transmutation Technology after the accident of TEPCO's Fukushima Daiichi Nuclear Power Stations (11 月 28 日開催予定、於京大本部) の案内があり、参加者並びにポスター発表を募集していることが報告された。
- 部会総会で配布している紙資料について、資源節約の点から、この代替案があればメーリングリストで知らせて頂きたい旨の依頼があった。

以上